

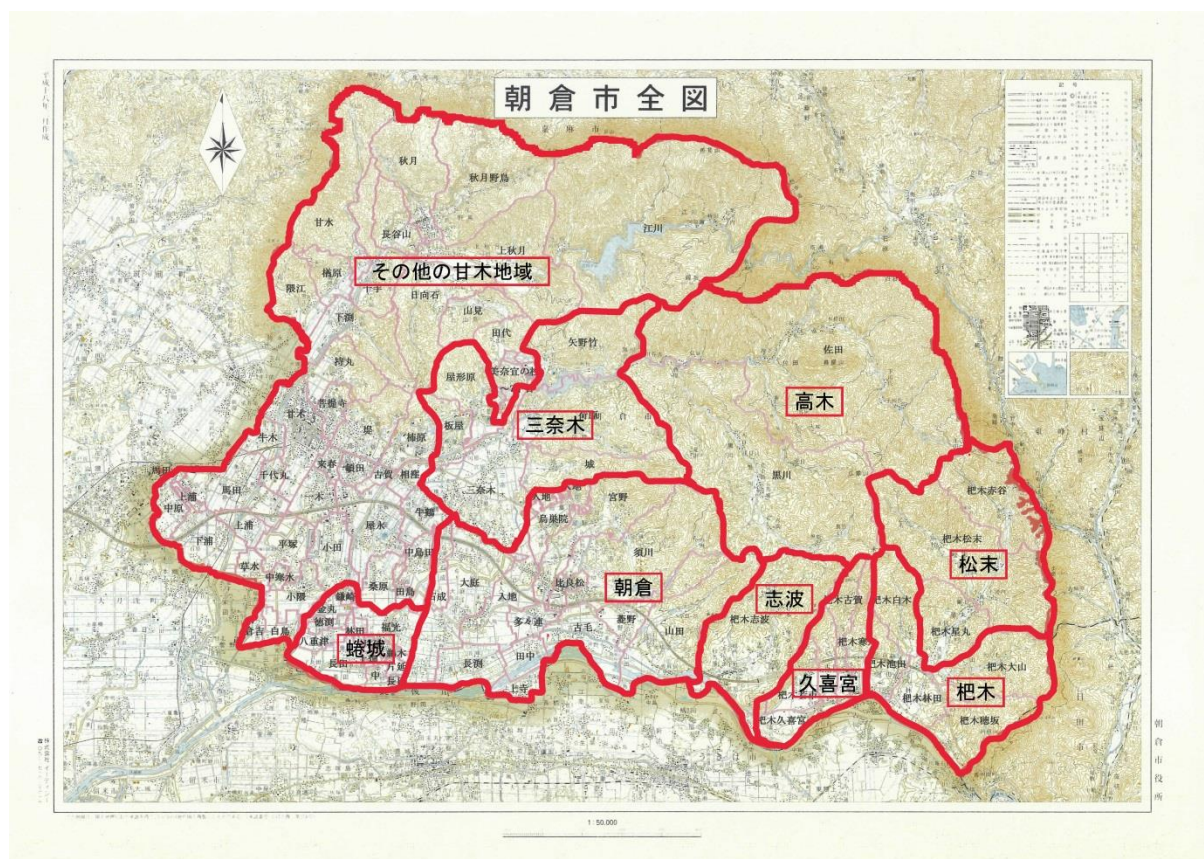
第1回 地区別復旧・復興推進協議会の結果

1. 開催概要

被災地を中心とした各地区に立ち上げた「地区別復旧・復興推進協議会」について、第1回を以下のとおり開催しました。

表一 開催日時等

地区	日時	場所
松末	10月 7日(土) 17時～	杷木らくゆう館
杷木	10月 2日(月) 19時～	杷木らくゆう館
久喜宮	10月12日(木) 19時～	久喜宮集落センター
志波	10月13日(金) 19時～	志波小学校体育館
朝倉	10月11日(水) 19時半～	朝倉地域生涯学習センター
高木	10月 5日(木) 19時半～	高木コミュニティセンター佐田分館
三奈木	9月22日(金) 19時～	三奈木コミュニティセンター
蜷城	10月 3日(火) 19時～	蜷城コミュニティセンター



表一 地区区分図

2. 第1回地区別復旧・復興推進協議会における主なご意見

8地区で開催した地区別復旧・復興推進協議会（第1回）における主なご意見は、以下のとおりです。

	主なご意見
松末	<p>①集落、組織での今後の松末地区の復旧・復興の在り方について、協議して行きたいので時間がほしい。</p> <p>②7月23日、市長より（工程表？）を提示するとの発言があり、いったいどんなもので、いつ提示されるのか。</p> <p>③復旧・復興というが、特に復旧については、改良復旧と捉えているがどうか。</p> <p>④地元に戻るためには、水道が必要。地域の簡易水道の復旧を公共事業として対応してほしい。</p> <p>⑤生活道路の橋梁（能勝多橋）設置、能勝多の消防水利の確保をしてほしい。</p> <p>⑥代行林道（赤谷・真竹線）を復旧してほしい。</p> <p>⑦関係機関と協議の上、早期の通電をしてほしい。</p> <p>⑧杷木地域放送の中村局は光ケーブルのため、災害時にシステムがぜい弱。システム改善が必要。また、災害FM放送の弾力的な運用により、防災にも役立ててほしい。</p> <p>⑨地域からの避難者の情報共有など、行政と地域との連絡を密接にはかれるような体制を整備してほしい。</p> <p>⑩仮設・みなし仮設については2年というが延長はあるのか。</p> <p>⑪宅地を造成して松末に住める場所があるのか。</p> <p>⑫今後の計画の中に「被災公営住宅」等の考え方はあるのか。</p> <p>⑬田畑が流出し、仕事も無く収入もないのでその間の所得補償や農地の買い上げを考えてほしい。</p> <p>⑭応急工事に3～5年かかるのであれば、災害復旧の期限が切れるので、受益者負担の軽減はできないか。</p> <p>⑮田畑が流出し、関係機関調整の上、次期作の対応ができるようにしてほしい。</p> <p>⑯仕事がなくなった方の就業支援のため、講習会費用等の市独自の支援策を検討してほしい。</p> <p>⑰治山・砂防ダムの堆砂が著しいが、これらの浚渫等の取り組み方針を教えてください。</p> <p>⑱松末地域住民の交流拠点、避難所の観点からも松末小学校の建物を残すべきではないのか。</p> <p>⑲河川等の本格復旧は、いつからどの機関で実施されるのか。</p> <p>⑳一体全体これから松末地区はどのようになるのか、どのように考えていけばいいのか。</p> <p>㉑来年の梅雨時までには、流木撤去を実施してほしい。</p> <p>㉒学校に通うスクールバスの駐車場が限定的で困っている。利用者の利便性を考え、弾力的に対応してほしい。</p> <p>㉓河川整備について、地元の意見が反映できるように、多くの選択肢を提示してほしい。</p>

	主なご意見
杷木	<p>①町（杷木地域）外に出た人がいかにして帰ってきてもらうかの施策を行政には取ってほしい。</p> <p>②安心して安全な生活ができる環境づくりを最優先に取り組んでほしい。</p> <p>③地域でも、河川・道路・橋梁のプランを検討している。整備着工前ではなく計画づくりの段階で、これらの地域住民のプランが反映されるように取り組んでもらいたい。</p> <p>④5年前（H24）の豪雨災害で聞き入れてもらえなかった改良復旧と言う地元の要望をぜひとも実行してほしい。</p> <p>⑤区ごとに地域住民の考えを九大等のサポートを得ながらまとめるので、本格復旧の計画に取り入れる住民協議をしてほしい。</p> <p>⑥赤谷川については、同じ河川として考え方を統一していく必要があり、松末地区の考え方も重要。意見を集約してほしい。</p> <p>⑦西町区を流れる市営河川の復旧方針を教えてください。</p> <p>⑧上池田の白木谷川沿いに災害発生時のまま、寄り付けられない場所がある。早急に市道が通れるようにならないか。</p> <p>⑨住宅地区改良事業により地上げしている団地（浜崎団地）では、被災が少なかった。この事業ではワークショップ等で、土地の嵩上げから間取り等の詳細事項まで検討しており、今回も同様に住民要望を聞く場を設けてほしい。</p> <p>⑩4つの小学校跡地活用について、出て行った人が地域に戻れるような低家賃の住宅等を検討してほしい。</p> <p>⑪白木や山間部にある流木がそのままになっているので撤去していただきたい。</p> <p>⑫今回の災害で、長期避難制度の指定対象地域があるかの判断が知りたい。</p>
久喜宮	<p>①地元へ足を運んで、現地調査をし、住民への報告をしてほしい。地元の中の、個々の事情をもっと見てほしい。地元へ直接話を聞きに来てほしい。</p> <p>②原形復旧と聞いたが本当か。改良復旧ではないのか。</p> <p>③河川（寒水川）の線形を示してもらわないと、土地利用の話ができない。</p> <p>④寒水川は市管理河川だが、どのような復旧を検討しているのか。寒水川に新しく砂防ダムを作るような計画はあるのか。</p> <p>⑤久喜宮団地の修理を早急にしてほしい。みんな戻りたいと願っている。</p> <p>⑥川と沢の違いは何か。沢の被害はどこが管理するのか。</p> <p>⑦筑後川の堤防も含めて対策を考えてほしい。</p> <p>⑧責任があっちこっちにある。決定権はどこにあるのか。「ここはどこが担当する」という決定権まで窓口で持ってくれることを期待している。</p> <p>⑨災害を受け、砂防ダムのメンテナンスも必要ではないか。以前から溜まっていた土砂を取り除いていけば、もっと被害が少なかったのではないかと思う。</p> <p>⑩ため池について、ポンプの取水口も詰まっており、ほとんど使えない状態。残っている田んぼを地区の財産とし、早急に利用できるようにしてほしい。</p>

	主なご意見
	<p>①寒水川の国道橋から筑後川までが極端に狭くなっている。国道の橋を含めて河道確保をしてほしい。</p> <p>②自宅に帰れるようになれば、5年後くらいに家を再建したいと思っているが、全壊家屋の解体申請が10月31日までと聞いた。もう少し猶予がほしい。</p> <p>③市民や消防団員から動画を送ってもらったり、ネットで情報を受け入れたり、災害情報をうまく収集する方法を検討してほしい。</p> <p>④家が流された高齢者が住宅再建をすることはとても厳しい。住まいの確保が課題なので、小学校跡地に公営住宅の建設を考えてはどうか。</p> <p>⑤土砂被害があったところの危険区域については、見直しされるのか。一帯がほとんど危険区域になるのでは、戻ってこようと思うが戻れない。</p> <p>⑥長期避難世帯について、進捗状況等を聞きたい。</p> <p>⑦り災証明の二次審査について、市の職員から、「二次審査をすると判定が下がるかもしれない」という発言があり、住民が躊躇している。</p>
志波	<p>①応急仮設住宅（建設型・みなし型）の期間2年の後の住宅はどう考えているか。</p> <p>②北川の道筋、換地手法、線引き及び見通しは怎么样了になっているか。</p> <p>③北川については、原形復旧なのか改良復旧なのか明確に示してほしい。</p> <p>④まずは二次災害を防ぐための対策も必要である。2月の菜種梅雨及び来年の梅雨対策までに万全を期すこと。</p> <p>⑤家を建て替えするための用地として、農振農用地の樹園地しかない場合、杷木を一つの特区として、すぐ農振が外せるよう検討してほしい。</p> <p>⑥杷木地域コミュニティ連合会から8/8に提出した要望書の農地・農業施設災害復旧工事における地元分担金ゼロについて検討状況を報告してほしい。</p> <p>⑦一部損壊被災世帯、家財損害世帯、自力仮住宅確保者への支援をお願いしたい。</p> <p>⑧長期避難世帯について、認定は県が行うものであるが、市としてどのように考えるのかを示していかなければならない。</p> <p>⑨全壊の住家以外（店舗、事業所等の被災）についても、解体の補助について検討してほしい。</p> <p>⑩今回の被害を受けて、多額の費用が市会計からも持ち出されるはずである。このような状況下で、新庁舎や十字公園などの事業については、復旧・復興が終わり、税収が安定してからのお話である。合併特例債等を含め復興予算に使っていくべきである。</p> <p>⑪集落ごとに地区別協議会の分科会となるような組織・検討が必要である。その際は、行政にも来てもらいたい。</p> <p>⑫道目木上流の流木・土石撤去等が行われないのであれば、下流域に再度被害が予想される。集団移転のようなことも考えざるを得ない。</p> <p>⑬集団移転が可能かどうか示してほしい。集団移転にかかる費用と現地の復旧・復興に係る費用など、工期的な部分を含め経済比較等示されるとよい。</p>

	主なご意見
	<p>⑭行政側から「できない」という言葉は聞きたくない。住民から意見を聞くだけでなく、「こういった制度を活用すれば、こうできる」など、行政側から提案があるべきである。今回は住民からの意見を聞いているが、次回は市から提案がなされるべきである。</p> <p>⑮農地に多く被害が出ており、復旧に時間を要するため、仮農地を用意することや河川の土砂で農地を造れないか。また、農地を失い、仕事も収入も無くなった人に対して何らかの援助ができないか検討してほしい。</p> <p>⑯災害により、防災マップ及び災害警戒区域指定等が変わってくると考える。今後の協議に必要となってくるため、早めにスケジュールや更新後の指定区域を提示してほしい。</p>
朝倉	<p>⑰農業後継者の育成が難しい中、未曾有の大災害により更なる営農意欲の減退が懸念される。朝倉地域の元気と活力を取り戻さなければならない。</p> <p>⑱原形復旧となるのか、改良復旧となるのか市民は関心をもっている。その方針を市民に周知してほしい。</p> <p>⑲桂川改修期成会が立ち上がって久しいが、スピード感をもって取り組んでほしい。これまでも桂川の浚渫を要望していたが、対応されていない。</p> <p>⑳消防機材・消防水利がなく、消防体制が崩壊している。市の対応が遅いという苦情が多数寄せられており、即刻対応願いたい。水利の応急的な復旧のため、ピンポイントでの浚渫はできないか。</p> <p>㉑山田地区は水利を確保できておらず、優先的な工事をお願いする。土地を提供すれば無償で防火水槽を作っていたいただけと聞いており、山田・黒川線沿いの土地を提供してもよい。</p> <p>㉒今回被災していないため池も含めて、危険なため池の確認・対策をお願いする。</p> <p>㉓土砂の仮置き場であった多々連の運動公園が荒れているので、市で整備してほしい。</p> <p>㉔流木やゴミの影響で地域の河川清掃活動ができないため、対応策を考えてほしい。</p> <p>㉕今回のような豪雨災害に対応できるよう防災マップの見直しが必要である。</p> <p>㉖比良松中学校南側の農地は土砂が流れ込み、農業を諦めている人もいる。10年後を見据えて土地の有効活用を考えてほしい。駐車場を整備する、市で買い上げ、嵩上げし、住宅地や商工業地として再開発するといったことができないか。農業地域という発想を転換し、人口流出を防ぎ、人口増加を図るという視点が必要ではないか。</p> <p>㉗人口を流出させないという視点で、被災者向けの団地等の住宅施策をお願いする。</p> <p>㉘商工業者に対する市からの支援措置を検討してほしい。</p> <p>㉙地域防災力を高めていくため、地域の事情・特性に応じた防災体制を作っていく必要があるのではないか。様々な状況を想定し、地域内で議論していく必要があるのではないか。</p> <p>㉚コミュニティ当たり300万円の活動支援金の配分の考え方について示してほしい。区が災害復旧に要した経費が600万円ほどあるため、助成を拡大してほしい。</p> <p>㉛ボランティアに対する市長からの感謝状について検討してほしい。</p>

主なご意見	
高木	<p>①5年とか数年後に河川や道路がどのように復旧するか見通しが知りたい。河川や道路がどうなるか分からないと、地域としても動きようがない。</p> <p>②林業者から雨が降るたびに山がずれているということを知りたい。今後、住み続けることはできるのか。被害を受けていない住家であっても、今後、住めないと認定されることはあるのか。再び被災する危険がある場所がどこなのかを早く知りたい。</p> <p>③名前もないような河川、沢は、どこが対応することになるのか。</p> <p>④農地は元のように戻るのか。費用負担はどうなるのか。基盤整備を兼ねて農地を整形できないか。営農を放棄する人が出てくるのではないか。</p> <p>⑤大規模半壊の家屋や空き家に流れ着いたがれきの撤去はどうなるのか。</p> <p>⑥生活排水が直接河川に流れており、衛生環境上、不安である。</p> <p>⑦地域は高齢化しており、仮設住宅に入っている人も多い。10年後に安心・安全に住める地区を取り戻せるかどうか不安である。もっと安全な場所に安心して住めるような方策がないかと考えている。</p> <p>⑧疣目・黒松・真竹地区の長期避難世帯認定の可能性について、話し合いを進めていただきたい。</p> <p>⑨県道甘木・吉井線の線形をもう少し良くすることはできないか。</p> <p>⑩市道山田・黒川線の復旧の目途は立っていないのか。</p>
三奈木	<p>①荷原川の復旧が、三奈木地区の復旧・復興の根本である。2次災害が発生しないよう、早急に対応してほしい。</p> <p>②原形復旧では、今後も同様の豪雨の際に被害が再発する。より安全性を高めていただくことが必要である。</p> <p>③荷原川の六本松橋（久保鳥の石橋桁橋）は通学路であるので、早急に復旧してほしい。復旧は、橋脚が狭いので復元ではなく、管理しやすくしてほしい。</p> <p>④住居近くの河川については、新たな被害が出ないよう川底を浚えるなどの応急処置をしてほしい。</p> <p>⑤河川の整備計画が提示されないと将来像も判断できない。整備計画が出てくると、「こんな三奈木にしたい」という考えも出てくるので次回には提示してほしい。</p> <p>⑥鬼ヶ城集落等では、営農継続は難しいという声もある。そこを離れてでも農業を続けたいという方々に対する手立てについて検討してほしい。</p> <p>⑦国道386号バイパスに上流部の水が入り、古熊(東)方面に抜け荷原川に流れ込んでいく。その水が久保鳥あたりの荷原川の水かさに影響しているのではないか。</p> <p>⑧今回の災害で多くの消防団員が長期間動員されたため、団員の確保が今まで以上に困難になる。団員確保に繋がる手立てを考えてほしい。</p> <p>⑨集落消滅対策、人口流出対策として、空き家活用を図るべきである。</p>
蜷城	<p>①水門を閉鎖しなかったにもかかわらず発生した今回の被害を踏まえた上で、桂川の抜本的な改修の検討が必要である。</p>

	主なご意見
	<p>②桂川改修設計については、筑後川に出す前に分流する方法、ポンプ以外で内水を排除する方法、床上浸水対策特別緊急事業等、様々な検討をしてほしい。</p> <p>③県道福光朝倉線の土砂堆積について、早急に対応してほしい。</p> <p>④農業集落排水処理施設やライスセンターなど生活に直結した施設には浸水対策を万全にしてもらいたい。</p> <p>⑤抜本的な対策により安全性を確保し、若い世代が出て行ってしまう地域にしてほしい。</p>

3. 復興計画骨子の検討にあたっての視点

第1回地区別復旧・復興推進協議会でのご意見を踏まえ、本市の復興ビジョン等を整理する「復興計画骨子」の検討にあたっての視点を以下のように整理しました。

	分類	骨子の検討にあたっての視点
松 末	住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・災害公営住宅の整備 ・仮設、みなし仮設住宅の期間延長 ・安心して住むことができる場所の確保（宅地造成、危険区域・土砂災害警戒区域の早期見直し）
	河川、道路の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・改良復旧、本格復旧の方針、スケジュールの早期提示 ・地元意見の反映 ・橋梁、林道の復旧（能勝多橋、赤谷・真竹線） ・来年の梅雨時までの流木撤去
	ライフライン等の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の簡易水道の復旧 ・早期の通電 ・消防水利の確保（能勝多地区）
	砂防事業、治山事業	<ul style="list-style-type: none"> ・堆砂した治山・砂防ダムの浚渫
	農地の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・白地化による改良復旧 ・次期作への対応
	農業者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・流出した農地の買い上げや所得補償 ・災害復旧期間外となった場合の受益者負担の軽減 ・農地を失った農業者に対する就労支援
	地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達手段の検討（災害FM放送の活用、地域放送の改善） ・行政と地域との連絡体制の強化（避難者情報の共有）
	計画策定のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での話し合いの機会の確保 ・地域の将来見通し
杷 木	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの積極的な情報提供 ・松末小学校の利活用 ・スクールバスの利便性向上
	住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・町外に出た人にいかに帰ってきてもらうか ・安心して安全な生活ができる環境づくり ・4つの小学校跡地活用（出て行った人が地域に戻れるような低家賃住宅等の建設）
	河川、道路の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・改良復旧、安全な線形 ・計画づくりの段階での地域住民の意見の反映 ・松末地区と整合性がとれた赤谷川の整備 ・西町を流れる市営河川の復旧 ・市道の早期復旧（寄り付けない地区へのアクセス確保） ・白木や山間部にある流木の撤去
	計画策定のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ等で住民要望を聞く場の設定
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・長期避難世帯の認定の検討

	分類	骨子の検討にあたっての視点
久喜宮	住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・久喜宮団地の早期修理 ・小学校跡地への公営住宅の建設 ・危険区域、土砂災害警戒区域の見直し
	河川、道路の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・改良復旧 ・現地調査の実施と住民への報告 ・寒水川の整備計画の提示、河道確保 ・筑後川の堤防も含めた対策 ・2次災害対策
	砂防事業、治山事業	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防、治山の計画、砂防ダムの新設予定 ・砂防ダムのメンテナンスのあり方 ・家に隣接する沢の復旧
	農地、ため池の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・農地、ため池の早期復旧、2次被害対策
	地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットを活用した災害情報の収集 ・自助、共助の取組
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・非常事態時の行政機能の一本化、機動的な体制整備 ・長期避難世帯の認定 ・幹線道路である国道が被災し、通行止めにならないための対策
志波	住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設、みなし仮設住宅の期間延長 ・集団移転の検討（集団移転と現地再建での比較検討を含む） ・農振農用地に住宅を再建する場合の手続きの迅速化 ・一部損壊被災世帯、家財損害世帯、自力仮住宅確保者への支援 ・全壊の住家以外の解体への補助（倉庫、店舗、事業所等） ・危険区域、土砂災害警戒区域の見直し
	河川、道路の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・改良復旧 ・2次災害対策（特に菜種梅雨、梅雨対策） ・現地調査の実施
	農業者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧における地元分担金ゼロの検討 ・仮農地の用意、土砂を活用した農地造成 ・農地を失った農業者に対する支援
	砂防事業、治山事業	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防、治山等の計画の提示 ・流木対策
	地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップの見直し
	計画策定のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・集落ごとに検討（行政も参加） ・地区別復旧・復興推進協議会の開催回数を増やすことを検討
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・長期避難世帯の認定の検討 ・復旧・復興への予算の重点化（新庁舎、十文字公園整備等の見直し） ・行政からの積極的な提案
朝倉	住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者向けの団地等の住宅施策
	河川、道路の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・改良復旧、復旧方針の周知 ・桂川の浚渫

	分類	骨子の検討にあたっての視点
	ライフライン等の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防機材・消防水利の早期復旧（行政の迅速な対応） ・ 山田地区の水利確保
	農業者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営農意欲の向上策
	商工業者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工業者への支援措置
	ため池の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険なため池の確認、対策
	地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の事情・特性に応じた防災体制の構築 ・ 様々な災害を想定した地域内での取組 ・ 防災マップの見直し
	地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝倉 IC の利便性を活かした地域づくり
	計画策定のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区別復旧・復興推進協議会に参加できていない被災者への参加機会の付与
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂の仮置き場で荒れた多々連の運動公園の整備 ・ 流木等の影響でできなくなった地域の河川清掃活動の再開 ・ コミュニティ活動支援金への助成拡大 ・ ボランティアに対する市長からの感謝状
高木	住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して住むことができる場所の確保（再び被災する危険がある区域、被災していないが危険な区域の特定） ・ もっと安全な場所に安心して住めるような方策の検討 ・ 大規模半壊の家屋や空き家に流れ着いたがれきの撤去 ・ 未処理生活排水の河川流入への対応
	河川、道路の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧の見通し ・ 道路の復旧（県道甘木・吉井線の線形改良、市道山田・黒川線）
	砂防事業、治山事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名前もないような河川、沢への対応
	農業者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤整備を兼ねた農地の整形 ・ 営農放棄対策
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期避難世帯の認定の検討（疣目、黒松、真竹地区） ・ 高齢化、人口減少が進む中での地域の将来の在り方
三奈木	住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集落消滅対策、人口流出対策としての空き家の活用
	河川、道路の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荷原川の改良復旧、河川整備計画の提示 ・ 2次災害対策 ・ 久保鳥の石造桁橋、鞘橋の早期復旧（久保鳥橋の橋脚幅の改善） ・ 被害の検証と対策
	地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員確保に繋がる手立て
	農業者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営農継続希望者に対する手立て
蜷城	住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代が出て行ってしまわない地域づくり
	河川、道路の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桂川の抜本的な改修 ・ 県道福光朝倉線の土砂撤去 ・ 農業集落排水処理施設やライスセンターなど生活に直結した施設の浸水対策
	計画策定のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの意見が集まるよう、パブリックコメントのやり方の工夫

